

介護福祉士養成大学連絡協議会 2022年度第1回研修会 開催要綱

テーマ 4年制大学における介護福祉士養成の意義を問う

1 主旨

4年制大学における介護福祉士養成教育にはさまざまな意義があります。介護福祉士養成教育そのものが、混沌とするなかで、本会がそれらの意義を明確に自覚しながら教育に取り組みことが求められているのではないかと考えられます。

この研修においては、4年制大学の介護福祉士教育に携わる当事者（教育・研究者）を中心に、今何を考えて、介護福祉士養成教育に向き合っているのかを議論しながら、その4年制大学における介護福祉士養成教育の意義をもう一度問い直し、明確にして、本会が活動していく際の共通認識を形成していくことの一助とすることを目的としたいと思います。

2 開催日時 2022年12月17日（土）13:00～15:00

3 開催方法 Zoomによるオンライン会議方式

4 対象 介護福祉養成大学連絡協議会会員に限らず、関心のある方はどなたでもご参加いただけます。

5 スケジュール

13:00～	開会と主旨説明
13:10～14:40	3つのテーマによるグループディスカッション
14:40～15:00	まとめ グループディスカッション報告と今後の課題の整理

6 グループディスカッションの進め方

5～7名程度のグループに分かれて、以下のテーマの1つをディスカッションの入り口として、議論を進めていくことを考えています。以下のテーマは、あくまでも議論の入り口としてとらえていただき、自由に、より発展した議論を期待しています。

ディスカッションの入り口のテーマ

(1) 4年制大学としての教育の実態と意義

4年制大学の教育の特徴や実態を、2年制養成教育や専門学校教育と比較しながら話したいと思います。たとえば、話題として「教養教育と専門教育の統合による総合的な教育」、「4年間という期間を活かした教育」、「ゼミ・卒業論文などによる研究姿勢や論理的思考の醸成」、「学士を目指すことの教育と卒業後の社会的位置づけ」などが考えられます。

(2) 4年制大学で学ぶ介護福祉士養成カリキュラムや教育の実態と意義

4年制大学が実施されている介護福祉士養成カリキュラムにはどのような狙いや意図があるのか、4年制大学で教育を受けた介護福祉士が、現代の社会のニーズに応える専門職となるためには、どのような力を身につけていくことが求められているかなどについて、話し合ってみたいと思います。また、大学側の期待や意図と実際の学生の状況についても考えてみたいと思います。

(3) 4年制大学で、複数専門職資格を並行して学ぶ実態と意義

4年制大学において、介護福祉士とあわせて他の福祉系国家資格の受験資格や教職免許などの他の専門職資格取得をカリキュラムに位置づけていることがあります。(2)のテーマと重複するところがありますが、介護福祉士と他の専門職教育を並行して学ぶことに焦点を当て、それは学生たちにとってどのような意味があるのか、そのことが介護福祉士教育にどのように影響を与えているか、その意義はなにかについて話し合ってみたいと思います。

7 申込方法

以下の内容を記載の上、12月10日(土)12:00までにお申し込み下さい。

氏名

所属

連絡先メールアドレス

関心のあるグループディスカッションテーマおよびその理由、議論したい点などについて(グルーピングの参考にさせていただきます。)

8 問い合わせ・連絡先

仙台大学 堀江 竜弥(ほりえ たつや)

tt-horie@sendai-u.ac.jp